

2020年8月18日(火)、25日(火) 東洋大学ボランティアカフェ ONLINE

「子ども好きな人、大集合！」(第1回・第2回)を開催しました

ボランティア支援室では、気楽な雰囲気の中でボランティア・社会貢献活動に関する話題に触れることのできる機会として「東洋大学ボランティアカフェ(以下、ボラカフェ)」を開催しています。

コロナ禍の現在は、オンラインにより開催。複数回のシリーズ開催を通じて、参加者間の交流を重視して内容を構成。参加者も東洋大学の学生のみならず、高知大学や山形大学、北海道教育大学函館校からも迎えました。

- ・日時：2020年8月18日(火)、27日(月) 時間帯はいずれも12:00~13:00
- ・会場：オンライン会場
- ・リソースパーソン(ゲスト)：久保 穂華さん
(東洋大学4年、NPO法人 Learning for All 学生ボランティア)
- ・モデレーター(進行役)：日比野 勲(東洋大学ボランティア支援室 ボランティアコーディネーター)
- ・参加者：18日：8名、25日：9名

8月18日に開催した1回目では、カードゲームの要領で、参加者の「子ども時代」を紹介し合いながら交流を深めました。

8枚のカードには、それぞれお題が記されており、リソースパーソンがピックアップしたカードに基づき、参加者が話をする形で進めました。初めて出会う人が互いに親しみを感じられるだけでなく、既に一定の関係が築かれている間であっても、よりよく相手を知るきっかけとなりました。

8月25日開催の2回目では、リソースパーソンの久保さんに、NPO法人 Learning for Allの学習支援ボランティア活動を通じての子どもたちとの関わりについてお話しいただきました。

以下、久保さんからの報告です。

今回のボラカフェでは、私自身が子どもと関わってきた経験やそれに対する思い、実際にボランティア活動をしている Learning for Allの活動紹介や実際の体験談をお話ししました。

現在私は、NPO法人 Learning for Allに学生ボランティアとして関わっています。私は「発展途上国の子どもの貧困」に興味を持ち、東洋大学国際学部国際地域学科に入学しました。入学後、国際ボランティアサークル Salamat(フィリピンの子供たちの支援を行う)で活動し、子どもの貧困から発展する課題は金銭的な問題にとどまらないということを学びました。特に、貧困など子どもが抱えるさまざまな課題が子どもの心理に与える影響に興味を持った私は、学童保育でアルバイトを始めました。もっと一人ひとりの子どもの成長に寄り添った活動をしたいと考えていた時に出会ったのが、Learning for Allでした。

Learning for Allは、子どもが抱える様々な問題や課題を本質的に解決することをミッションに掲げて活動している団体です。

学生が参加できるボランティアは、学習支援と居場所支援という二つの形があります。私が参加している学習支援の活動では、1人の教師が1~3人の小中学生の子どもと向き合い、週に1回、学習指導や生活指導を行います。活動を通して、一人の子どもと向き合う時間が長いからこそ難しいこと、嬉しいこ

とを経験しています。実際に、私の担当する子どもが私に心を開いてくれるまで時間がかかりました。その経験から、子どもの表面的な言動だけではなく、その奥にある思いを考えることが大切だと学びました。今後も子どもと向き合い、子どもの「こうしたい！」に寄り添う存在になれるよう頑張っていきたいと思います。

ボラカフェに参加してくれた皆と自分の子ども時代を話すことは、新鮮な体験でした。また、みんなからの感想で「意外と子どもと関わったり、考えたりする機会は多くないので、新鮮だった」という感想が多かった印象があります。今回のボラカフェで何か子どもと関わる経験につながるものがあつたらいいなと思います。

【参加者からのコメント：森田千智さん（東洋大学3年、NPO法人 Learning for all 学生ボランティア）】

私は今年の春から NPO 法人 Learning for all(以下 LFA) で学習ボランティアをしている縁で、今回のリソースパーソンの久保穂華さんにご紹介いただき、今回初めてオンラインボラカフェに参加しました。今回は子どもや教育に関心のある、広い地域からの学生が集まっていて、お互いの子ども時代の経験や、いまの子どもとのかかわり方などを話しながら和気あいあいと交流ができました。地方の大学生の方々の子どもに関わるボランティアについての経験も興味深く、子ども分野のボランティア活動に関する視野が広がりました。

2回目の開催となった25日は、真摯に子どもと向き合ってきた久保さんだからこそできるお話を聞き、一緒に活動していた頃のことを思い返し、私は春のプログラムで何を子どもに届けられたのかと改めて考えなおしました。

今回、私自身もプログラムでの経験を話させていただき、自分の経験を聞いてもらったことで、自分の子どもや教育に対する思いを再確認できる機会となりました。

今年はコロナ禍で、当初予定していた学習ボランティアもオンラインでのスタートでしたが、よいご縁に恵まれ、オンラインで出会いや学びが広がる機会に巡り会えました。そして何よりも、LFAでのZOOMを用いた研修及び学習支援活動もそうでしたが、このボランティアカフェでも、ネットを介した中でも笑顔溢れる温かな交流が生まれる『居場所』ができることに感動しました。機会があれば、また参加させていただきたいです。ありがとうございました。

